

2. アカデミーと自由

18世紀のパリ王立科学アカデミーの場合、正会員は科学的業績をもとに選挙で選ばれたが、王は提示された候補者複数名の中から一名を指名することができた

アカデミーの自由と王（コンドルセ、1780年代）

アカデミーというものはその会員を選出する権利を持たねばならない。君主は選出された学者を拒否する権利を保持することはできるが、その権利を決して行使しないし、彼自身の意見が尊重されることで「アカデミーによる」選出の自由にとって妨げとなることを認めない。アカデミー会員の数は不可侵の法により確定されており、それはその地位を荣誉あるものにする唯一のあり方である。王による選出は戦士やあるいは大臣であれば名誉となる。何故なら王は軍事的功績や統治の才についての審判となりうるからである。だが、アカデミー会員の荣誉となるのは学者たちによる選出以外あり得ない

〔後略〕

Une academie doit avoir le droit d'élire ses membres. Le souverain peut se réserver celui de refuser le savant qui a été élu, mais qu'il n'use jamais de ce droit, qu'il ne souffre pas que le respect pour son avis gêne jamais la liberté des elections [;] que le nombre des academiciens soit fixé par une loi inviolable, c'est le seul moyen de rendre ce titre honorable. Le suffrage d'un Roi honore un guerrier ou un ministre parce qu'un roi peut être juge du merite militaire ou du talent de gouverner, mais il n'y a que le suffrage des savans qui puisse honorer un academicien, et



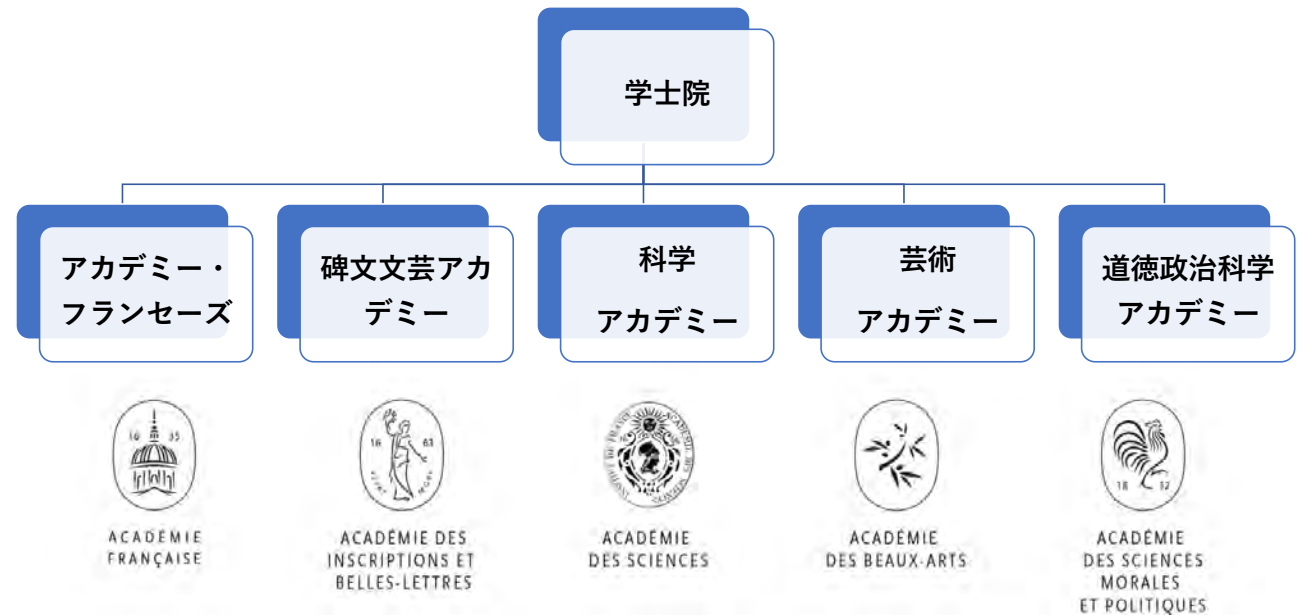
Ludwig Gottlieb Portman, 1804/Wikimedia Commons

Condorcet, "Sur l'utilité des academies", [p. 9] cited in James E. Mc Clellan "Un Manuscrit inédit de Condorcet : Sur l'utilité des académies. In: *Revue d'histoire des sciences*, tome 30, n° 3, 1977. p. 251.

フランス学士院とその特別な法的地位 (現代)



現在のフランス学士院 隠岐が撮影

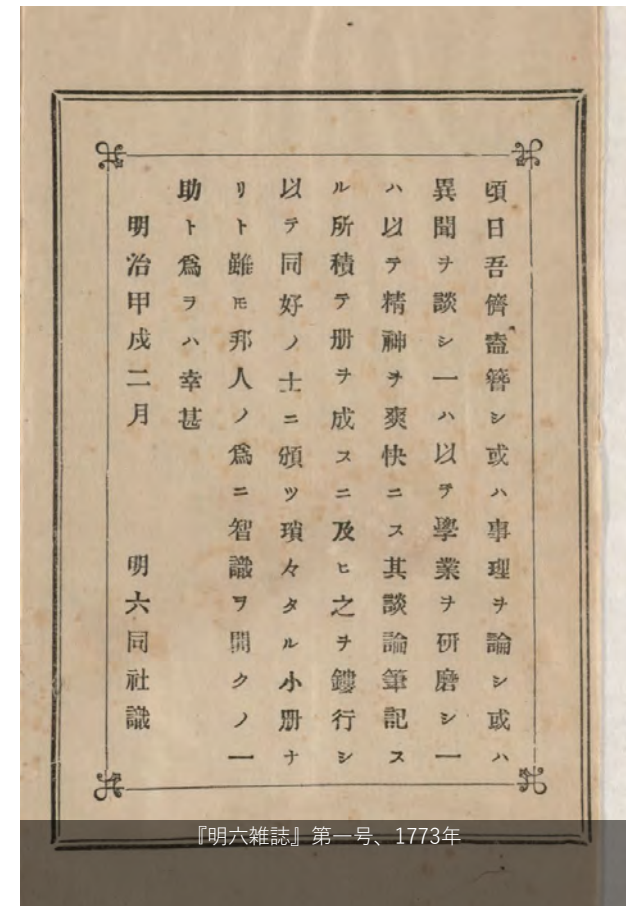
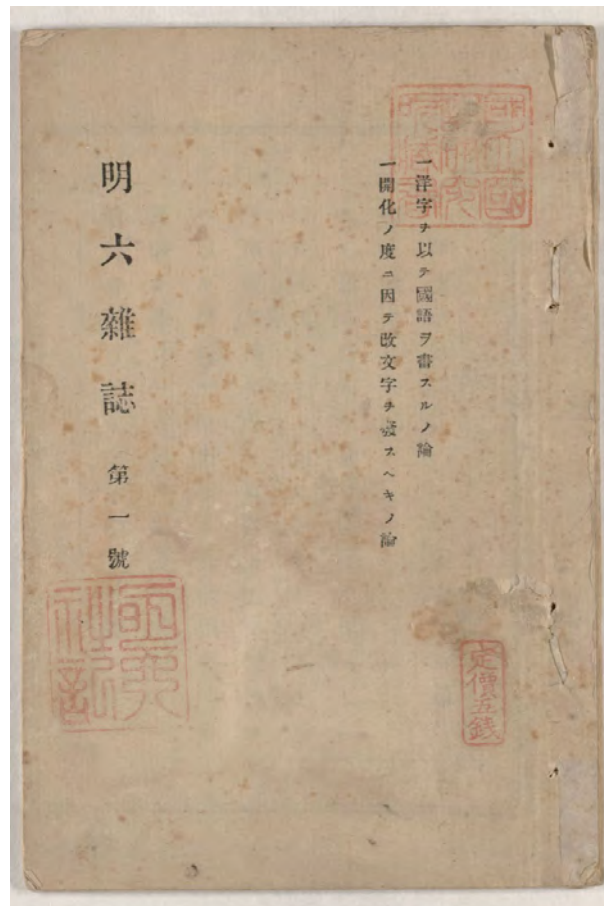


特別な独立性

「共和国大統領後援下で特別な地位に位置付けられた公益上の法人」 (2006～)

参考: <https://www.institutdefrance.fr/>

3. 日本の歴史と アカデミー



『明六雑誌』第一号、1873年

日本最初のアカデミー としての明六社

- 1773年創立
「本朝にて**學術、文芸の会社**を結びしは今日を始めとす」〔西村茂樹『明六雜誌』岩波文庫、上、57〕
- 中核メンバー：**森有礼**、西村茂樹、福澤諭吉、中村正直、加藤弘之、津田真道、西周、箕作秋坪、杉享二、箕作麒祥…
- 後に帝国学士院となる
- 戦後には日本学士院
(英語名：Japan Academy)

森有礼：
https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/7/7d/Arinori_Mori_2.jpg
『明六雜誌』国立国語研究所蔵：
<https://dglb01.ninjal.ac.jp/ninjaldl/show.php?title=meirokezassi&issue=001>



右『明六雜誌』第
1号、12頁

○本朝ニテ學術文藝ノ會社ヲ結ビシハ今日ヲ始メトス
諸賢ハ皆天下ノ名士ナリ人皆謂ハン卓犖奇偉ノ論千古
ヲズ此會社ヨリ起ラント何トツ諸先生ノ卓識高論ヲ以
覺シ天下ノ模範ヲ立テ識者ノ望ヲ曠フセザランコト是

戦前：帝国学士院と学術研究会議

- 欧米のアカデミーは分野別に分かれているが、**日本のアカデミーは機能ごとに分かれていた**

帝国学士院 (1906-1945)

国際学士院連合（UAI）に代表派遣
→ 戦後：継続

学術の発達と教化

→ 戦後：学術上功績顕著な科学者を優遇、学術の発達

学術研究会議 (1920-1945)

国際研究会議（IRC）に代表派遣
→ 戦後：後継組織（ICSU、後にISCなど）に代表派遣

戦前：**研究の連絡及び統一** → （戦時動員と軍事研究）
→ 戦後：科学に関する重要事項の審議、研究の連絡…



ナショナル・アカデミー としての日本学術会議

“日本学術会議は、総理府に属する政府機関であり、昭和24年「**学術研究会議**」と「**日本学士院**」を統合して設立された。その後、昭和31年に、栄誉機関である「**日本学士院**」が再び分かれ…”

〔吉川弘之「日本学術会議」『学術の動向』（特集 緊急シンポジウム：21世紀の科学アカデミーをデザインする）2001年3月、p. 40〕